

湖山池から分離されたカビ臭プランクトン (*Planktothrix raciborskii*) の NIES 株への登録

【水環境対策チーム】

森 明寛、永瀬 知美*1、初田 亜希子*1

1 はじめに

鳥取市に位置する湖山池では、2006年から2011年にかけて藍藻類の一種である *Planktothrix raciborskii* が大発生し、湖面ではアオコを形成する他、本種が産生するカビ臭物質 (2-MIB) によって、シラウオなどの魚類に深刻な被害を与えていた¹⁾。2012年から実施されている再汽水化に伴って、本種の発生は確認されなくなったが、種の保存及び同種の研究発展に繋げるため、独立行政法人国立環境研究所微生物系統保存施設 (NIES コレクション) に寄託し、NIES 株として登録されたことを報告する。

同施設では、様々な微細藻類、原生動物、および絶滅危惧藻類の系統保存を行っている。環境問題解明やその他の基礎、応用研究に重要な培養株の寄託を受け付けており、研究、開発、教育のために分譲されている²⁾。

2 本種に関する情報

2.1 公開情報

学名 : *Planktothrix raciborskii* (Woloszynska) Anagnostidis et Komárek

公開株番号 : NIES-2871

URL : <http://mcc.nies.go.jp/strainList.do?strainId=3302>

2.2 基本情報

門名 : Cyanophyta 綱名 : Cyanophyceae

目名 : Oscillatoriales 科名 : Phormidiaceae

シノニム : *Oscillatoria raciborskii* Woloszynska

Planktothricoides raciborskii (Woloszynska) Suda et M.M.

Watanabe

2.3 保存機関

独立行政法人国立環境研究所 微生物系統保存施設
(茨城県つくば市小野川 16-2)

2.4 採集及び分離

2.4.1 採集

採集年月日 : 2008年10月9日

採取者 : 森 明寛

採取地 : 湖山池 (鳥取市高住地先)

2.4.2 分離

分離年月日 : 2008年10月10日

分離者 : 永瀬 知美

分離方法 : ピペット洗浄法による単一細胞分離

3 謝辞

本株を寄託するにあたり培養条件等のご指導をいただいた独立行政法人国立環境研究所微生物系統保存施設の皆様に感謝申し上げます。

参考文献

1) 永瀬知美, 奥田益算, 若林健二 : 湖山池のカビ臭原因プランクトンに関する研究, 鳥取県衛生環境研究所報, 49, 24-29 (2008)

2) 独立行政法人国立環境研究所微生物系統保存施設, <http://mcc.nies.go.jp/>

¹⁾ 現生活環境部水・大気環境課